

希望が丘夏休みわんぱくキャンプ 開催要項

1 テーマの設定および目的

【テーマ】 心から心へ ～自立と協力の7日間～

【教育目的】 参加者自身が自分と向き合い、まわりを見つめ、チームの一員として3つの項目の目的とする。

- ◎自分の参加動機とこのキャンプの目標をしっかりと認識する。
- ◎そのためにみんなと考え方ややり方を話し合い工夫する。
- ◎参加者同士協力し、目標達成を目指して粘り強く取り組む。

↓

7日間の自然の中での生活を通して、「自分で考えて行動する力」と「仲間と協力して物事を解決する力」の2つの力を習得し、互いに心(非認知能力や生きる力等)を成長させる。

また里山の保全などを学ぶことを通して自然とも心を通わせる。

2 主 催：公益財団法人滋賀県希望が丘文化公園

3 期 日：令和7年(2025年)

7月27日(日) 「事前研修会&出会いのつどい」 10時から16時30分まで

9時30分:受付開始 / 16時30分解散

8月10日(日)～8月16日(土) 6泊7日 初日10時から最終日14時30分まで

9時30分:受付開始/14時30分解散

4 場 所：滋賀県希望が丘文化公園 野外活動センターを中心に公園内およびその周辺

(滋賀県蒲生郡竜王町薬師1178)

※なお4日目は、琵琶湖博物館でのプログラムを実施(滋賀県草津市下物町1091)

5 対 象：滋賀県内在住在学の小学4年生～小学6年生

6 定 員：60名(申込多数の場合は抽選)

7 参加料：20,000円(教材、食費、保険料等含む)

8 申込方法：Eメールで、郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・性別・生年月日・学校名・学年(年齢)・電話番号・メールアドレスおよび参加の動機を明記のうえ申し込む。

9 募集期間：令和7年(2025年)6月13日(金)～6月27日(金)

10 問合せ・申込先：滋賀県希望が丘文化公園 野外活動課

〒520-2551 滋賀県蒲生郡竜王町薬師1178 滋賀県立希望が丘野外活動センター

TEL:077-586-1100 FAX:0748-58-0220

Eメール:e-yagai@kiboupark-shiga.or.jp

11 その他

【参加にあたってのお願い】

参加決定後、事前アンケートを送付、7月27日(日)保護者、参加者からのアンケートをいただき、内容の説明と事後アンケートを依頼します。必ず回答、提出方お願いします。事後分は9月10日(水)必着になります。(郵送代金等は公園で負担します)また参加者には、キャンプ期間中および最終日等に聞き取り方式も併用しますが、個人が特定される項目はありません。最終報告書は各参加者にも送付いたします。

●アンケート手法の一部紹介: 野外活動体験、自然活動体験およびMLGsの4つの視点をIKRの評価方法と組み合わせて検証指標とします。

○食事は基本野外調理です。野外活動体験、自然体験活動では、その時の気象状況や参加者の体調管理に注意しながら計画実施します。テント泊について、夏の蒸し暑い時期ですが、雨が降るなど気温が低くなることがあります。キャンプの基本ですが、暑さ寒さは、着衣で調整します。



<詳細補足説明>

2030年の琵琶湖と琵琶湖に根ざす暮らしに向けた13のゴール
マザーレイクゴールズ (Mother Lake Goals, MLGs) では、2030年の持続可能社会へ向け、琵琶湖を切り口として独自に13のゴールを設定しています。



○滋賀県が2021年7月1日、マザーレイクゴールズ推進委員会が掲げた「Mother Lake Goals 変えよう、あなたと私から」から事業プログラムを展開。具体的には13の項目から以下の4項目に絞る。

- 3 「多様な生き物を守ろう」 ・身近な自然を知る、学ぶ / ・間伐等、森林保全活動
- 4 「水辺も湖底も美しく」 ・ゴミ排出量の削減 / ・マナーを守っての行動
- 5 「恵み豊かな水源の森を守ろう」 ・里山の保全
- 10 「地元も流域も学びの場に」 ・自然体験プログラム

上記の項目を中心に、計画、実践を行う。

※参加者にはわかりやすく、できるだけ簡易に安心して取り組んでいただくよう、工夫する。

滋賀県の HP

<https://mlgs.shiga.jp/> <https://mlgs.shiga.jp/mlgs/13goals>

このサイトを、保護者から子どもの目線でどんなことができるかなあ
キャンプを通じてやってみよう!と思っていいただければ、大丈夫です